

平成 26 年度印西市市民活動支援センター指定管理者
業務実施報告書(年間分)

平成 27 年 3 月 31 日

印西市長職務代理者

印西市副市長 高橋 諭 様

所在地	印西市中央南 1-4-1 中央駅前地域交流 2 号館
指定管理者	NPO 法人 COSMOS サポートクラブ
代表者	藤澤 進

印西市市民活動支援センターの管理運営に関する基本協定書第 24 条の規定に基づき、次のとおり年間分(4-3 月)の業務実施報告書を提出します。

1. 管理業務の実施状況

(1) 市民の平等利用の確保策の実施状況

利用者に対する不平等な扱いの事例なし。

(2) 事業の実施状況

別添 1 のとおり。

(3) 施設管理の実施状況

施設管理上の問題なし。

2. 施設の点検・修繕等の実施・結果状況

異常なし。

3. 施設・物品の滅失・き損の状況

- ① 4/12(土)登録団体が印刷機を使用中に、製版するとインクのムラができるという状態になり、排版し製版し直しても改善されなかった。業者の点検の結果、ドラムがかなり傷んでいるとのことで、引き取って見てもらった。当日の利用団体には他の場所で印刷していただくようお願いした。後日、ドラムの新品と交換していただいた。
- ② コピー機の A3 使用時に、不送りによって用紙が詰まるトラブルが 2 度あった。業者の点検結果では、「用紙上昇スプリングの変質／劣化」、「用紙吸湿による上昇底板の動作不良と、摩擦係数の低下による給紙コロのスリップ」が原因とのことだった。

4. 施設の利用状況

(1) 利用者数

別添 2 のとおり。

(2) 使用拒否等の件数・理由

- ① 10/21(火)、A登録団体のA氏が印刷に来られたが、印刷機の使用を拒否した。「市民活動支援センター利用案内」の規定に反し、原稿が個人名のものであったため私的利用と判断した(それ以前は、スタッフのチェック漏れで印刷を許可してしまったことがあった)。

5. 利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況(指定管理者によるアンケートの実施等)[実施月のみ報告]

- ① 4/23(水)、だんごくらぶ(一般向け講座)開催の際にアンケートを実施した。参加者が講座を知ったきっかけはほとんどが広報で、内容については「満足した」というものが多く、「うれしい」、「早速飾りたい」などのコメントをいただいた。また次回も参加したいという方も数名あった。

だんごクラブは、講座としてだけではなく、一般の方に市民活動団体を紹介する機会にしている。団体のPRと会員勧誘を兼ねて参加したリズムミック・カンフー千葉 NT クラブのメンバーからは、こういう機会があつてうれしいとのコメントをいただいた。

- ② すべての登録団体を対象に「平成 26 年度登録団体アンケート」を実施した(7 月に集計)。質問のねらいは、市民活動支援センターの利用の仕方とだんごまつりの在り方についてである。

回答が 33 通であつたが、支援センターとの関わりについては、印刷室の利用(33 通)、活動室の利用(32 通)、掲示などの情報発信(24 通)が多数であつた。他団体との交流(15 通)、情報収集(13 通)、各種相談(11 通)という利用も注目される。だんごまつりの開催については、回答が割れたが、前年度と同じ 11 月開催という希望が比較的多かつた(16 通)。開催場所については、中央駅前地域交流館が多かつた(17 通)。1 号館との同時開催については、回答の保留が多かつたが、別開催を希望する回答は 2 通にとどまつた。

- ③ 5/31(土)の「魅力あるホームページへの改善方策」講座開催時にアンケートを実施した(回答数 10)。参加者は登録団体のメンバーがほとんどで、一般市民の参加は 2 名にとどまつた。60 歳以上の男性と 40 代の女性の参加が目立つた。講座を知ったきっかけは、ほとんどが「広報」と「支援センター窓口」で、「市民活動支援センターのメンバーからの紹介」という方が 2 名あった。講座に参加した感想では「有意義だった」、「楽しかった」、「今回の講座を参考にして団体の活動に結びつけたい」というものが多かつた。自由記述の感想欄には「HP づくりに挑戦してみます」、「とりあえず Jimdo にトライしたい」、「大変わかりやすく参考になりました」、「今後の活動に役立てたい」などのコメントがあつた。

- ④ 大学生インターンの受け入れ(7/11、25、29、8/3、26)を行った。K 女子大学 3 年生 1 名で、市民活動支援センターの日常業務の体験、活動室での団体活動の見学、「夏休みボランティア体験プログラム」への参加、手伝いに参加していただいた。

- ⑤ 夏休みボランティア体験プログラム参加者に対してアンケートを実施し、アンケートと引き換えに、ボランティア証明書を発行した。

- ⑥ 10/18(土)、助成金を獲得するための講座を開催し、参加者にアンケートを行った。参加者が7名で、6通の回答があった。講座が参考になったとする回答者が多かった(6名)。今後取り上げて欲しいテーマとしては、「まちづくり」(4通)、「リーダー育成」などが挙げられた。
- ⑦ 10/26(日)、NPO 法人等設立講座・を開催し、参加者にアンケートを行った。参加者が6名で、6通の回答があった。講座が参考になったとする者が多かった(6名)。今後取り上げて欲しいテーマとしては、「税務・会計」(3通)、「健康づくり」(2名)、「生きがい」(2名)、国際協力・NGO(2名)などであった。
- ⑧ 11/29(土)、30(日)に実施した市民活動だんごまつりに関し、当日の来場者にアンケートを行った。回答(67通)では、展示や企画・パフォーマンス等の中で印象に残ったものを尋ねたところ、各種催し物について回答が割れた。その中で、比較的には、企画として取り組んだ印西ルーム(10通)が注目が集まった。今後の市民活動への参加については、約半数(33通)が積極的意思を示した。
- ⑨ だんごまつり終了後に参加団体にもアンケートを実施した(回答22通)。来客数については、まあまあだった(13通)、良かった(6通)と概ね好評であった。今回の参加目的に関しては、活動PR(18通)、資金獲得(5通)の順であった。まつりの評価に関しては、まあまあ満足した(12通)、大変満足した(8通)の順であった。また、スタンプラリーについては、やって良かった(14通)、どちらとも言えない(4通)であった。
- ⑩ 1月から3月にかけて、市内3カ所で実施した登録団体ポスター展に関し、来場者にアンケートを依頼した。引き替えにNPO関係の景品(マスク・ファイルケース)を置いたが、アンケートの回収数は少なかった(21通)。その中で、活動内容が分かりやすい、情報がもらえて助かるなどの書き込みがあった。
- ⑪ 2/8(日)「NPO 会計を学ぼう！」の講座で、参加者にアンケートを行った。参加者が15名で、10通の回答があった。講座が参考になったとする者が多かった(7通)。ただ、会計の知識が無いと理解しにくい(1通)、実務面の難しいと思われる点に絞って欲しい(1名)などの回答もあった。今後取り上げて欲しいテーマとしては、「NPO の設立・運営」が多かった(7通)
- ⑫ 3/1(日)、「地域づくりの人材育成講座」を行い、参加者にアンケートを行った。参加者が10名で、7通の回答があった。活動の参考になった・有意義であった(4通)、得るものがなかった(3通)と評価が分かれた。どういう人材を求めているのか、参加者の求めるものが違っていることによると思われる。

6. 個人情報保護への対応状況

個人情報の漏洩なし。

7. 情報公開の実施状況

- (1) 市民活動支援センターホームページ、Facebook 等にて随時イベント情報などを公開した。なお、市民活動支援センターの Facebook ページへの「いいね！」は136となった。
- (2) 今年度より、毎月1〜2回程度、「印西市市民活動支援センターだより」をメールにて各団体事務局に送付した(計16号)。

- (3) だんごまつり参加団体に対して、だんごまつり準備、連絡会などに関する情報を、一斉メール送信した。
 - (4) 広報紙「だんご通信」を年 4 号(A4 版 4 頁)をカラーで発行し、登録団体等に送付するとともに、公民館、学校、コミュニティプラザ等の公共施設に配備するとともに、全町内会の回覧に供した。
 - (5) 館内掲示板に、補助金・助成金情報、市内外の活動団体ポスター・パンフレット情報、市外講座情報などを掲示した。
8. 緊急事態、不法行為等への対応状況(防災、防犯、衛生対策などの安全対策を含む)
- (1) 緊急事態、不法行為等は発生しなかった。
 - (2) 7/9(水)、駅前地域交流館 1 号館、2 号館合同の防災訓練に参加した。その際、だんごくらぶミニ参加者、居合わせた登録団体関係者にも訓練に参加していただいた。
9. 相談・意見への対応状況
- (1) 相談
 - ① 6/3(火)、B登録団体のM氏夫妻から、協働事業に応募したいがどうしたらいいかという相談を受けた。これに対して、理事長より、何を地域課題としてとらえるのか詰める必要があると説明するとともに、事業の応募の手順などを話した。
 - ② 8/7(木)、C登録団体のT氏より、自身の関係している成年後見の団体が解散することになっているが、その後の事業の継承にどのような方策があるか、との相談があった。理事長が対応し、成年後見事業を続けるためには、一人ではなく、まずは現在のメンバーに話をして、一緒に事業を継続する方を探すことなどをアドバイスした。
 - ③ 8/22(金)、市民協働事業 2 次審査(文化ホール)の際、応募したD登録団体は落選したが、審査後に落選の原因・次回の対応策などを同団体のI氏とコーディネーターの理事長で話し合った。次回については事前相談するようアドバイスした。
 - ④ 9/3(水)、E登録団体のU氏より、マージャンの機材を地元公共施設に置いてほしい旨要請しているが、他の施設の状況はどうか、との相談があった。理事長より、今後ともねばり強く要請し続けるしかないが、当面は会員全員で分担して管理してはどうかと話した。
 - ⑤ 9/28(日)、F登録団体のF氏より、団体を NPO 法人にするにはどうすればよいか、会計はどのように処理すればよいのか、設立直後の会計をどうするのか、NPO 法人にするメリットは何かなどの質問を受けた。理事長より、活動計算書様式、申請手続の機関、留意事項を伝え、NPO 法人申請までにしなければならないこと、税務処理関係などについて説明するとともに NPO 法人申請のマニュアル書を渡した。
 - ⑥ 11/5(水)、G登録団体のT氏より、NPO 法人設立手続の進め方と、その後の助成金獲得の進め方などについての質問があった。理事長より、定款の作成方法、認証の申請まで作業の進め方などを話すとともに、助成金を得るためには NPO 法人であることが有利であるということを説明した。

同団体は、その後もたびたび相談に来られ、1 月に、県に NPO 認証申請を提出し受理されるに至った。また、アドバイスした補助金についてもヤマハの助成金が採択されたとの報告を受けた。

- ⑦ 11/6(木)、市生涯学習課担当者が来館され、印西市民アカデミー地域活動課程のプログラムのひとつとして、市民活動だんごまつりにおいて、地域活動の実習のため、受講生を参加させたいとの申し入れがあった。支援センターとしても、4月に同アカデミーの基調講演を理事長が行ったことに鑑み、これに協力することとし、受講者の意向をたずねた上で、同まつりの企画のひとつである「子どもたちのふるさと印西を知ろう」という展示発表ルームの準備、運営等を手伝っていただいた。
- ⑧ 11/16(日)、来館したT氏(女性)から、ユニセフのボランティアをしているのでポスターを貼って欲しい、また印西音頭を仲間と踊っており、こちらの団体の活動を知りたい、関西でファミリーサポートをしていたので印西でもボランティアをしたい、との申し出があった。
- これに対して、ユニセフのポスターは送付して頂ければ掲示可能である旨説明するとともに、印西音頭の件は、だんごまつりに来館して参加団体から直接話を聞くこととなった。ファミリーサポートについては、直接印西ファミリーサポートセンターに話を聞くこととされ、後日訪問したとのこと。
- また、御主人が送迎などのボランティアをしたいという相談もあったので、福祉センターを紹介した。
- ⑨ 12/7(日)戸神台在住のKさんから、定年を迎え、再就職口を探しているが見つからないので、市民活動をやってみたい。印西は里山などの自然に恵まれているので、別荘地として都内の住民を誘致できないだろうか、とのことだった。センター長から、まちづくり系や環境系など様々な登録団体を紹介した。ただ、別荘地にするなどの活動をしている団体はないと説明するとともに、エコツーリズムに近い活動を登録団体のRCNがしていることを紹介するとともに、市民活動関連のリーフレットなどを渡した。
- ⑩ 12/10(水)、NPO 法人HのS氏より、電話にて、市民活動の登録団体になりたい旨の申し入れがあった(同団体は、旧大森支援センターの時代に登録団体になった経緯がある)。同氏はもう一つ、同NPO 法人とは別途の団体を立ち上げ、登録したいとの話もあった。理事長が対応し、申請書を提出していただくとともに、定款等を添付するように伝えた。
- ⑪ 12/27(土)、I 登録団体のA氏より、1月の新年団体交流会で、参加者全員で久七だんごを食べてみませんか、との提案があった。だんごまつりの「だんご」の由来を新しい登録団体の方々にも知ってもらいたいとのこと。そこで、1/16(金)の団体交流会の開催の際、参加者が1本ずつ試食した。来年度は本格的に、だんごを食べながらの交流会を行うよう検討してはどうかとの提案もあった。
- ⑬ 2/6(金)、T大学のK先生が来館され、シニアのための身体活動増進プロジェクトを本年度より2年間の予定で実施しているが、市民活動として実施していくためにどうすればいいか、との相談を受けた。理事長が対応し、まずは市民活動団体として登録してもらい、長期的には、NPO 法人となり助成金の獲得、会費・賛助会費の獲得を目指すことを提案し、登録申請用紙を渡した。後日、再度来館され、現在は仮登録である。
- ⑭ 2/10(火)、J団体のH氏が来館され、千葉ニュータウン駅前の花壇の手入れを手伝ってくれる団体・個人を探したいとの相談があった。市から預かった花が花壇の半分しかないのが、手伝ってくれる団体があれば増やしてもらおうよう市に掛け合ってみたい。同団体も高齢化で人手が足りないとのことだった。センターとしては、同団体と市との話し合いの目途がついたら、心当たりの団体にこちらから声かけをすることとした。また、団体交流会が

あるので、そこに参加していただいて横のつながりを持っていただければ人手の情報も入るとアドバイスした。同団体としては、会長と相談のうえ、後日対応したいとのことであった。

- ⑮ 2/14(土)、K登録団体のO氏が来館され、「新聞紙のエコバッグ作り」の講座を開いてみてはどうかとの申し出があった。センター長が対応。興味深いご提案ではあるが、準備期間を入れれば、来年度の実施になるため、現指定管理者では対応できない旨伝え、その提案を次期管理者に引き継ぐにしても、実施するかどうかは分からないとした。同団体からはそれであれば、自団体の講座として別途実施することもあるとのこと、いったん引き取られた。
- ⑯ 2/15(日)、G登録団体のT氏よりお電話があり、団体のHPを作りたいので相談にのってほしいとのことだった。また、母子が集まる場所や団体はないか、との問い合わせがあった。HPの相談に関しては、事前に連絡を入れてから来館していただくようお願いし、母子が集まる団体については、L登録団体、M登録団体があることを教えた。
- ⑰ 2/17(火)、一般の男性が来館され、貧困家庭の子どもたちの学習を支援する団体はないかとの問い合わせがあった。貧困家庭対象ではないが、学習支援の活動をしている団体としてN登録団体を紹介した。東日本大震災の被災地支援として、仙台で学習支援活動をしている団体があることを知り、印西でも同じようなことができないかと考えているとのこと。自分で団体を作るより、そういった活動をしている団体のメンバーに加わりたいという意向のようだった。
- ⑱ 2/19(木)、らーばんねっとのY氏が来館され、2月放送分「地域にエール」のDVDをいただいた。2月はO登録団体の活動の様子を放送。3月にはP登録団体を放送。その次については、Q登録団体を紹介した。同氏は、来年度も何らかの形で番組の継続を希望されている。
- ⑲ 3/4(水)、過日1階掲示板の折り紙作品を見たという女性とご主人、お嬢様が来館された。ご主人から、折り紙の資格を持っているので何か役にたてられないだろうか、という相談を受けた。理事長が対応。講座を開きたいというのであれば、公民館で聞いてみるのもよいが、市民団体を立ち上げ、活動していくこともできると提案。団体登録用紙を渡した。後日団体登録をする予定とのこと。
- ⑳ 3/11(水)、だんごくらぶに参加していたメンバー女性3人から、同くらぶが終了するため、来年度以降も紙工作等を継続するための団体を立ち上げたいとの相談があった。理事長、センター長、スタッフNで対応。当センターの役割、市民活動団体について説明し、公益活動を行うということで団体を立ち上げてはどうかと提案した。現在、同メンバー間で検討中と聞いている。
- ㉑ 3/12(木)、R登録団体のI氏から、4/8(水)の小林コミュニティプラザでの食事会の椅子並べを手伝ってくれるボランティアを探してほしいとの依頼を受け、センターで募集していたが、3/13(金)に電話があり、ボランティアが決まったとの連絡を受けた。

(2) 意見

- ① 6/11(水)、A登録団体のS氏が来館し、支援センターの広報を送付するためのメール便が誤配されたことに対し、苦情を受けた。近隣に同姓の家が3軒あるとのこと。センター長が対応し、メール便を扱っているヤマト運輸に電話をして、誤配があったことを伝えた。同社よ

り、今後このようなことのないようにするとの回答を得た。

- ② 7/12(土)、B登録団体のY氏が来館され、2号館3階の管理方法について話していかれた。(この件について、以前も支援センターに質問に来られたことがあり、この日は、3階の管理は1号館が行っていることを利用者が理解しやすいように掲示等を工夫するよう1号館に話をしてきた、という報告だった。)
- ③ 8/3(日)、C登録団体のY氏から、印刷機に関して、1原稿で印刷したはずなのにカウントが2になっているとのクレームがあった。原稿を置いた印刷機のカバーを途中で開くとプリントから製版に変わり、知らずにスタートキーを押すと製版してしまう場合もあると回答。フリーキー1として対処し、50円返金した。
- ④ 9/10(水)木下東在住のMM氏の奥様から、だんご通信の回覧物が間違えて届いたとの電話があった。本来はMT氏宅に届けられるべきものが同姓のMM氏宅に届いた。これが2回目だったので連絡をしたとのこと。間違って宅配されたことに対しては謝罪し、調べて配布人には伝えたと回答した。これは市の配布物全体に関わるものなので、同日中に印西市市民活動推進課に報告し、対応を依頼した。
- ⑤ 10/28(火)、D登録団体のI氏よりメールで、だんごまつりにおける署名活動について問合わせがあった。内容は、だんごまつりにおいて、同団体がパネル展示と親子体験ルームをやるが、パネル展示で案内役として立つ人や体験ルームのスタッフが「署名集め」をすることの可否である。

センターとしては、署名活動そのものは全否定されないが、「市民活動だんごまつり」という性格上、イベント全体の雰囲気が損なわれないよう自制がどの団体にも求められると説明した。そうした観点から、自団体のパネル展示の場所でパンフレットを配り、穏やかな声掛けで署名をお願いすることは可能であるが、体験ルームは、その性格上、不可とした。なお、パンフレット等に政党名や個人名が入らないように付言した。また、上記については、11/5(水)の第5回だんごまつり連絡会でも各参加団体にも説明した。

- ⑥ 11/14(金)、E登録団体代表のK氏が来館され、「だんごまつり参加の申込用紙が来なかったもので、参加の申し込みができなかった(締め切り後に参加の手続をした)。完成したポスターに自分たちの団体名が載っていないのがさびしい。」との話があった。市民活動支援センターとしては、今年度の申込用紙送付を基本的にメールとファックスで全団体に行っているが、同団体からは届いていないとのことであった。

今後の対応について、市民活動支援センターとしては、同団体が指定管理する事業所に届けることを提案したが、事業所のスタッフは職員に過ぎないので、代表のK氏の自宅へ郵送してほしいとのことであった。支援センターとしては、連絡文書が多いためメールアドレスを開設してもらうよう依頼したが難色を示され、以後は市民活動支援センター内に同団体のグループボックスを設け、そこに配付することで同氏と合意した。

- ⑦ 11/25(火)、F町内会副会長のI氏より、団体登録に当たって同町内会役員から質問が来たので回答して欲しいとの申し入れがあった。内容は、(ア)申請書はどこに置かれるのか根拠を示されたい、(イ)なぜ、NPOの代表者に出すのか、(ウ)署名活動しているK団体は、政治団体ではないのかというものであった。

これに対して、次のように回答した。(ア)申請団体が提出した印西市市民公益活動団体登録名簿登録申請書は、要綱第8条により印西市市民活動支援センターに備え置くもの

である。(イ)その事務については、印西市市民活動支援センターの設置及び管理に関する条例に基づく印西市との指定管理者委託契約により、指定管理者が行っているので、同申請書は NPO 法人 COSMOS サポートクラブの代表者である理事長宛てに提出していただくことになる。(ウ)政治について、指定管理者は、政党、政治団体、政治資金団体などの名称を用いるもの、選挙に関するもの、議会活動(会派などを含む。)、議員名の記載があるものなど形式メルクマールによっているが、具体的には、個別事情を勘案して判断している。

なお、12/26、同町内会 S 氏から、登録の抹消の申し入れがあった。

10. 人員体制、人員配置、指揮命令系統、責任体制、職員研修(接遇、施設設備の取扱い等)

- (1) 人員配置については、2 人勤務態勢を維持。指揮命令、責任体制についても変更なし。
- (2) 内部研修については、特に実施せず。
- (3) 外部研修については、以下のとおり実施。

- ① 千葉県男女共同参画センター主催の平成 26 年度女性リーダー養成講座にセンター長が参加した。全 5 回で、7/24(木)、9/11(木)、10/16(木)、11/15(土)、12/11(土)に行われた。

また、男女共同参画フェスティバル自主講座にも出席した(8/3(日)、29(金))。

- ② 8/28(木)、第 1 回千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議(於:千葉県教育会館)に理事長が参加。
- ③ 9/7(日)、「効果的なホームページの活用法」講座(於:千葉市民活動支援センター)にスタッフ 1 名が参加。
- ④ 9/29(月)、平成 26 年度ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修にスタッフ 2 名が参加。
- ⑤ 10/31(金)、千葉市京葉銀行文化ホールに於いて、平成 26 年度第 2 回千葉県市民活動支援ネットワーク会議が開催され、理事長が出席した。副題が「地方共助社会づくり懇談会 in 千葉」となっており、内閣府政策統括官、日下部英紀氏の基調講演の後、パネルディスカッションが行われた。

11. 管理経費の収支状況

収入	11,235,671 円
支出	9,506,469 円
残高	1,729,202 円

12. 自主事業の実施状況

- ① 前年度末にスタートした、ケーブルテレビ「らーばんねっと」による市民活動団体の取材が今年度は毎月 1 回のペースで行われ、「地域にエール」というタイトルで第 2 木曜日から一週間ずつ放映していただいた。これまでの実績は下記の通りだが、27 年度も引き続き放映していただけると承知している。

5月:ヒップファミリークラブ、6月:いんざい朗読研究会、7月:エンディングサポート風、8月:ふるさと案内人協会、9月:リズムック・カンフー千葉NTクラブ、10月:印西音楽家の会、11月:アンサンブル「はなみずき」、印西少年少女合唱団、12月、1月:だんごまつり特集、2月:印西国際交流協会、3月:マーブル福祉会

- ② 4/9(土)、理事長が印西市民アカデミーの地域活動課程開講式において基調講演を行った。
- ③ 4/26(土)、朗読会(いんざい朗読研究会)開催の広報活動に協力した。
- ④ 7/1(火)～8/8(金)、印西市社会福祉協議会からの依頼で、「被災地支援のための支援金の募集」の募金箱を設置した。支援金は、宮城県内で被災地支援活動をしている団体に届けるとのこと。
- ⑤ 11/18(火)～20(木)、県立我孫子東高校より要望のあった同校生徒のインターン受け入れを行った。市内在住の同校1年のTO君、TU君の2名には、この間、だんごまつりの配布文書の印刷、参加関係者の会議設営、パネル運搬などの作業を手伝っていただいた。支援センターとしては、この間の生徒指導及び安全などについて監督するとともに、学校への評価書作成を行った。

平成 26 年度印西市市民活動支援センター指定管理者実施事業報告書

事業名	事業内容	実施時期 及び期間	所要 経費 (千円)	事業効果	数値実績
団体交流会	登録団体間の意見 交換、情報共有な どを目指す。	4/25(金) 10:00~12:00	1	①団体間の交流、イベント 情報の周知、共有 ②「ごみ・環境問題につい て」	参加者 7 名 市職員 3 名 スタッフ 3 名 (計 13 名)
		5/21(水) 14:00~16:00	1	①団体間の交流、イベント 情報の周知、共有 ②「facebook について」安全 な利用の仕方、だんごまつ りに向けての利用について	参加者 4 名 スタッフ 2 名 (計 6 名)
		6/24(水) 10:00~12:00	1	①団体間の交流、イベント 情報の周知、共有 ②「夏休みボランティアプロ グラム」に昨年参加された団 体の方に様子を話していた だき、今年度のことについて 話し合った。	参加者 4 名 スタッフ 2 名 (計 6 名)
		7/19(土) 10:00~12:00	1	①団体間の交流、イベント 情報の周知、共有 ②子育て支援についての問 題点の共有	参加者 5 名 (団体メンバ ー4名+一般 参加 1 名) スタッフ 1 名 (計 6 名)
		9/25(木) 10:00~12:00	1	今回のテーマは「コラボの可 能性を探る」。 亀成川を愛する会といんざ い朗読研究会がコラボして だんごまつりに参加すること になった。その後、だんごま つりの話題に移行し、「印西 ルーム」の企画案がまとまっ た。	参加者 7 名 スタッフ 2 名

		1/16(金) 13:30~15:30	3	団体の活動紹介、イベント告知を行う。 イベント時の集客方法について他団体の様子を紹介し、参考にする。 「久七だんご」を食べながら歓談し、「だんご」の名称の由来を知ってもらった。	参加者 18 名 +スタッフ 6 名
だんごまつり 連絡委員会	だんごまつり連絡会に向けての打ち合わせを行う。	8/5(火) 13:00~15:00	0	8/6(水)のだんごまつり連絡会に向けて、世話人が集まり、意見をまとめた。	参加者 9 名 スタッフ 2 名
		8/27(水) 13:00~15:00	0	9/3(水)のだんごまつり連絡会に向けて、場所割を検討した。	参加者 6 名 スタッフ 2 名
		9/17(水) 13:00~16:50	0	だんごまつりの目的は何か、4 団体コラボで何を訴えるのか、について参加者とスタッフで議論になった。	参加者 6 名 スタッフ 3 名
		9/30(火) 13:00~15:00	0	9/25(木)の団体交流会を受けての話し合いをもとに、議論が進んだ。	参加者 10 名 スタッフ 3 名
		10/21(水) 13:00~16:50	1	館内配置、使用する備品の数を確認することが必要。	参加者 6 名 +スタッフ 3 名
だんごまつり 連絡会	(1)今年度のだんごまつりについて、参加団体のメンバーに集まってもらい、おまつりの目的、実施目的などについて話し合う。	7/2(水) 13:00~15:00	0	登録団体が主体となったおまつりになっていくように働きかけていく。	参加者 25 名 +スタッフ 3 名
	(2)だんごまつりの場所決め、キャッチフレーズなどについて話し合う。	8/6(水) 13:00~15:00	0	パネル展示はゾーン分けをすることに決定。キャッチフレーズも決定。参加者から様々な意見が出るようになったことも成果のひとつである。	参加者 25 名 +スタッフ 3 名

	(3)だんごまつり出展場所の確認。その他の事項についての話し合い。	9/3(水) 13:00~15:00	0	物販、スタンプラリー、チラシの配布方法などについて意見交換をした。	参加者 32 名 +スタッフ 3 名
	(4)今年度のだんごまつりについて、参加団体のメンバーに集まってもらって話し合う。	10/3(水) 13:00~15:00	0	4 団体コラボ企画の中止、「印西を知ろう」という新しいコラボ企画、センターで当日配布のパンフレットを作ること、などについての説明と、細かな点の確認。	参加者 28 名+スタッフ 2 名
	(5)今年度のだんごまつりについて、参加団体のメンバーに集まってもらって話し合う。	11/5(水) 13:00~15:00	0	場所割、時間割の確認。役割分担の確認。館内掲示物についての指示。当日朝の物品搬入についての注意。駐車場についての説明。PR と集客について、説明と協力要請。スタンプラリーのルールについて説明。	参加者 29 名+スタッフ 3 名
	(6)だんごまつりに向けての最終打合せと団体間交流	11/19(水) 13:00~16:00	2	出展フロアごとに分かれて、内容の確認をし、団体間の交流を深めた。今後の予定を確認した。	参加者 24 名+スタッフ 3 名+高校生 2 名
第 10 回 だんごまつり	市民活動支援センター登録団体の活動発表、体験、展示、模擬店販売、スタンプラリー等を実施するとともに、ちば県民活動 PR 月間と賛同行事として協賛した。	11/29(土) 10:00~16:00 11/30(日) 10:00~15:00	2	市民に対し、市民活動団体および市民活動支援センターの活動周知を行なうとともに、市民活動への参加の機会を拓いた。	11/29(土) 来場者 500 名+団体参加者 150 名 = 650 名。 11/30(日) 来場者 540 名+団体参加者 150 名 = 640 名
	だんごまつりポスター・チラシの作成		24	市内公共施設などに貼付・配布し、市民活動まつりの周知を図った。	A3 版ポスター100 部、 A4 版チラシ 3,000 部

	だんごまつり参加団体の紹介冊子の編集・配布	だんごまつり当日	0	だんごまつりにおいて来場者に配布し、参加団体の活動のPRに協力するとともに、県のNPO 月刊の行事に協賛するため、NPO に関するPR 記事を挿入した。	A4 版 1,200 部
だんごまつり反省会	だんごまつり参加団体のメンバーに集ってもらい、今年度のおまつりを振り返り、団体間の交流をさらに深める。	12/12(金) 13:30~15:30	2	内容については別紙にて報告済み。 今年のだんごまつりを振り返ってもらい、今後の活動へと繋げてもらう。	参加者 14 名+スタッフ 5 名
広報紙発行	だんご通信 vol.15	登録団体宛 6/8 (日) 発送 町内回覧 6/11 (水)	22	市民活動支援センターとセンター登録団体の活動の様子を市民の方々に広報する。 今年度はカラー刷りで発行することとした。	回覧用 3000 部 配布用 900 部
	だんご通信 vol.16	登録団体宛 9/9 (火) 発送 町内回覧 9/10 (水)	22		3900 部
	だんご通信 vol.17	登録団体宛 11/7 (金) 発送 町内回覧 11/12 (水)	30	市民活動支援センターとセンター登録団体の活動の様子を市民の方々に広報するとともに、だんごまつりの告知も行った。	3900 部
	だんご通信 vol.18	登録団体宛 2/6 (金) 発送 町内会回覧 2/12 (木)	30	だんごまつり実施報告とパネル展の告知。助成金情報、イベント講座案内など市民活動支援センターからのお知らせを行う。	3900 部
夏休みボランティア体験プログラム 2014	中・高・大学生を中心とした市民の方々に、登録団体の活動にボランティアとして参加してもらい、活動の様子や目的を知ってもらう。	7/19(土)~ クリオネクラブ 7/27(土) 小林盆 おどり 7/29(火) 武蔵屋 7/30(水) ~ 印西 病院 7/31(木) FC コス		市民と市民活動団体との結びつけをおこなうとともに、異世代間の交流を図る。	参加団体 11 ボランティア参加者 20 人 (延べ人数は 31 人)

		モス 8/3(日) 亀成川を愛する会 8/9(土)・23(土) 印西ウエットランドガイド 8/19(火) 温暖化防止印西 8/23(土) いんザイ君応援団 8/23(土)・24(日) いんざいびっきの会 8/26(火) 武蔵屋			
	ボランティア体験プログラムに協力していただいた団体とボランティアをした学生から、活動報告を聞き、交流を深めるための「ふりかえりの会」を開催	9/7(日) 10:00～12:00	2	ボランティア活動を振り返り、成功・失敗の両面から検証し、これからのボランティア受け入れなどの活動についてあらためて考えてもらう機会となった。 また、学生たちと団体メンバーの方々、団体間の交流の機会となった。	参加団体 4 参加者 16 名(内、学生は 5 名)
魅力あるホームページへの改善方策の講座・相談会	市民活動団体の日頃の活動を伝えるための HP の改善方策について、講座と相談会を開催する。	5/31(土) 10:00～12:00	20	これを機に、HP の作製に挑戦してみようという参加者が数名いた。 質疑応答の時間が非常に有効だった。 講師は、(株)DENXIN 社長 阿比留亮氏。	参加者 12 名 講師 1 名 スタッフ 1 名 (計 14 名)
パソコンで作る名刺作成講座	昨年好評だった名刺講座をもう一度開催してほしいという利用者の声に応じて開催。 手作りの名刺をパソコンで作成し、団体活動、地域活動に役立ててもらう。	9/20(土) 10:00～12:00	0	団体活動、自治会活動をしている方に、実際に使う名刺を作成して持ち帰ってもらうことができた。センターに初めて来たという人も多く、市民活動支援センターの存在を知ってもらえたことも良かった。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 7 名 講師(スタッフ)、補助スタッフ

介護事業等の運営を考える講座	要介護者の増加に伴い、施設などの経営を考えている人、施設で働きたいと考えている人、家族の介護の必要性を感じている人などを対象に、施設運営の現状などを話す。	6/28(土) 10:00~12:00	20	福祉施設の必要性や、市民ひとりひとりが地域福祉について考えていくことの重要性を認識するきっかけとなった。 講師は、ひかり隣保館館長宇野眞理子氏、NPO 法人わごころ理事長吉田充氏。	参加者 12 名 講師 1 名 スタッフ 1 名 (計 14 名)
助成金を獲得するための講座	市民活動を対象とした助成金獲得について、具体的に学ぶ。	10/18(土) 10:00~12:00	2	平成 27 年度年賀寄附金による社会貢献事業助成について、応募や書類作成のポイントを学ぶ。 講師は日本郵政株式会社総務・人事部、環境・社会貢献室の佐藤祐之氏。	参加者 6 名 +講師 1 名、スタッフ 1 名
NPO 法人等設立講座・相談	市民活動団体の法人化の申請手続きを理解し、一般社団法人など類似制度との比較を行う。	10/26(日) 10:00~12:00	20	これから法人化を考えている人たちに、申請手続きの進め方や法人化することのメリットとデメリットなどについて知ってもらう。 講師は、行政書士の三浦俊男氏。	参加者 6 名 +講師 1 名、スタッフ 2 名
NPO 会計講座・相談	NPO 会計について、専門の税理士から学ぶ。	2/8(日) 10:00~12:30	30	活動計算書や貸借対照表など、NPO 会計の正確な決算と、会計ソフトを利用した帳簿作成を学んだ。 講師は、NPO 税理士ネット副理事長の小笠原氏。	参加者 15 名+講師 2 名
地域づくりの人材育成講座・相談	地域課題の解決や地域づくりに取り組む人材の発掘・育成を目指す。	3/1(日) 10:00~12:30	20	市民活動について学び、市との協働について考えるきっかけ作りをした。 講師は、千葉市市民活動支援センター館長出納いずみ氏。	参加者 11 名+講師 1 名

市民講座「だ んごくらぶ」	(1)端午の節句の兜 づくり	4/23(水) 10:00~12:00	1	市民の方には、手作りを楽 しみながら、市民活動支援 センターとその登録団体の ことを知ってもらう。また、登 録団体の方には、講座に参 加すると同時に、イベント等 の告知の時間に利用しても らう。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 8 名
	(2)「すすきのみみ ずく」づくり	10/29(水) 10:00~12:00	10	手作りを楽しみながら、季節 を感じ、交流の輪を広げる。 講師は、綿貫祐子氏。	参加者 18 名+講師 1 名、スタッフ 1 名
	(3)来年の干支「ひ つじ」を和紙で折 る。	12/10(水) 10:00~13:00	0	手作りを楽しみながら、市民 活動支援センターと登録団 体について知ってもらう。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 17 名
	(4)「かわいい連雛」 づくり	2/18(水) 10:00~12:00	0	手作りを楽しみながら、市民 活動支援センターと登録団 体について知ってもらう。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 16 名
市民講座「だ んごくらぶミ ニ」	(1)たとう(基本)、薬 包み、箸袋、楊枝 入れ	5/14(水) 10:00~11:00	1	市民の方には、手作りを楽 しみながら、市民活動支援 センターとその登録団体の ことを知ってもらう。また、登 録団体の方には、講座に参 加すると同時に、イベント等 の告知の時間に利用しても らう。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 8 名
	(2)のし袋基本(ポ チ袋)、簡単たとう、 粉包み	6/11(水) 10:00~11:00	1	7 月はいんザイ君応援団の 方々にダンスを踊っていた だいた。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 6 名
	(3)のし鶴(縦)	7/9(水) 10:00~12:00	1	7 月はいんザイ君応援団の 方々にダンスを踊っていた だいた。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 11 名、団体 5
		7/23(水) 10:00~12:00	0	前回参加できなかった方々 のフォロー。⇒今後の広がり に期待している。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 2 名

	(4)半紙で作る祝い 包み 3 種	8/20(水) 10:00~12:00	1	8 月はいんざい朗読研究会 と印西音楽家の会が団体紹 介とイベント告知をした。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 16 名、団体 2 名
	(5)のし鶴(横)、手 紙折り(六角形)な ど	10/8(水) 10:00~12:00	0	市民の方には、手作りを楽 しみながら、市民活動支援 センターとその登録団体の ことを知ってもらおう。 また、登録団体の方には、 講座に参加すると同時に、 イベント等の告知の時間に 利用してもらおう。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 9 名
	(6)ぼち袋 3 種、風 車型たとうなどの作 成	11/12(水) 10:00~12:00	0	市民の方には、手作りを楽 しみながら、市民活動支援 センターとその登録団体の ことを知ってもらった。 また、登録団体の方には、 講座に参加すると同時に、 イベント等の告知の時間に 利用してもらった。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 11 名
	(7)折り末、丸型たと うを和紙で折る。	1/14(水) 10:00~12:00	0	手作りを楽しみながら、市民 活動支援センターと登録団 体について知ってもらおう。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 11 名
	(8)包み折り(丸形た とう、折り末(鶴)	3/11(水) 10:00~12:00	0	手作りを楽しみながら、市民 活動支援センターと登録団 体について知ってもらおう。 講師は、支援センタースタッフ	参加者 11 名
ポスター展	市民活動団体の日 頃の活動の様子を ポスターにし、市内 3 カ所を巡回して展 示する。	①日本医科大学 千葉北総病院 1/23(金) ~2/5(木)	0	市民活動支援センターに来 館する機会のない市民にも 登録団体の活動の様子を PR した。	ポスター参 加 27 団体 準備協力 3 名
		②文化ホール 2/6(金)~ 2/17(木)			準備協力 1 名

		③小林公民館 2/18(金)～ 3/3(火)			準備協力 1 名
--	--	------------------------------	--	--	-------------

補足資料(平成26年度収支状況)

	項目	予算額	実績額	残額
歳入	印刷機・コピー機	¥118,000	¥133,220	¥15,220
	講座受講料	¥18,000	¥70,684	¥52,684
	合計	¥136,000	¥203,904	¥67,904
歳出	人件費	¥6,969,330	¥6,940,799	¥28,531
	事務費	¥1,125,453	¥244,322	¥881,131
	事業費	¥1,069,384	¥558,512	¥510,872
	管理費	¥2,003,600	¥1,762,836	¥240,764
	合計	¥11,167,767	¥9,506,469	¥1,661,298
指定管理料		¥11,031,767	¥9,302,565	¥1,729,202